



COPY
昭和58年 6月15日

NO 13

Governor's Monthly Letter

To Club Presidents and Secretaries of
Rotary International District 260

District 260 R.I. Governor
KOICHI OKUMA

c/o The Nagoya Kanko Hotel
1-19-30 Nishiki, Nakaku, Nagoya, Aichi, Japan 460

Phone: 052-231-7711 (Ext. 527)

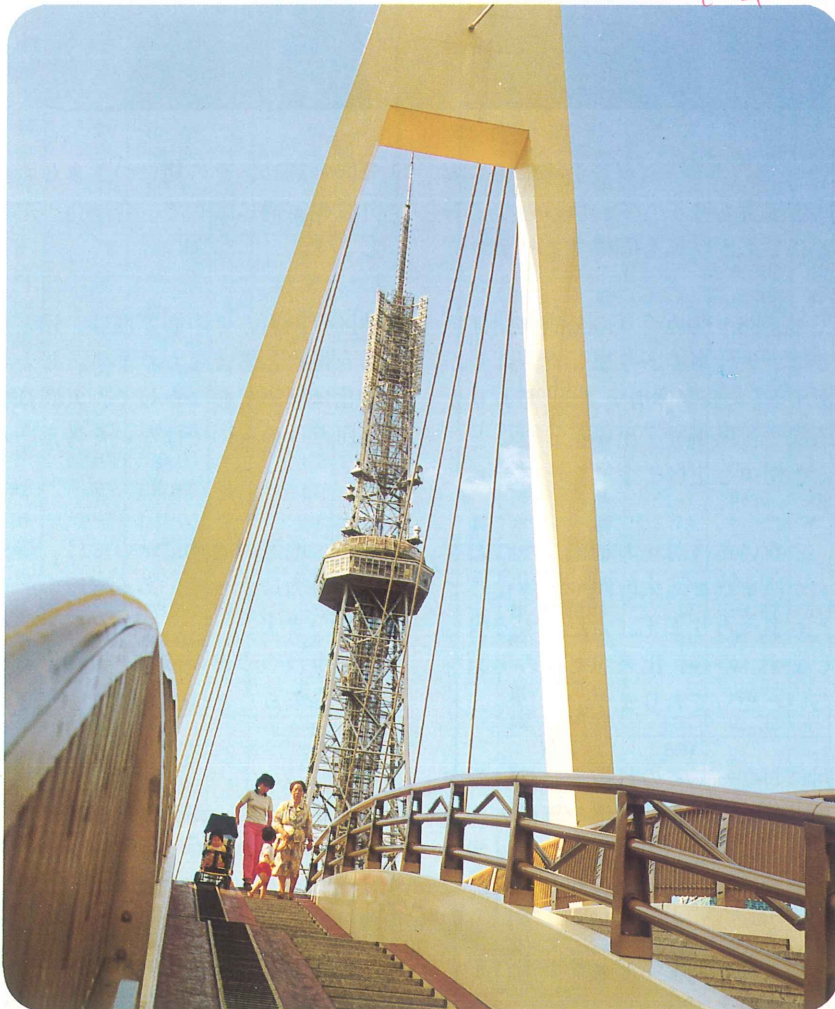
国際ロータリー第260地区ガバナー 大隈孝一

〒460 名古屋市中区錦1丁目19番30号 名古屋観光ホテル内 Phone: 052-231-7711 (内線527)

MANKIND IS ONE
人類はひとつ

Build Bridges of Friendship Throughout the World
世界中に友情の橋をかけよう

国際ロータリー



セントラルブリッジ(名古屋市)

最近セントラルパークに出来た斜張橋。

〔撮影・写真提供 浅野甚七(名古屋R.C.)〕

この一年をふりかえってみて

ガバナー 大隈 孝一



この『ガバナース・レター』がお手許に届く頃は、もう地区協議会も終了して、ほっとしておられることと存じます。私も同様であります。

(1)何といっても、88ヶ所めぐりの公式訪問は、私にとっては、大仕事でありました。ふりかえってみますと、“公開体力テスト”でありました。お蔭様で、無事終了出来ましたことに改めて厚く感謝申し上げます。

(2)皆様方に、いろいろ検討をお約束したこともございますが、まだまだ未解決や具体化していないことも多々あります。力足らずで申し訳なく存じます。今後、出来るだけの努力をしてゆきたいと思っております。

(3)今まで12回にわたってこの月信でいろいろ申し上げてきましたが、先輩各位や皆様方に、失礼の段、あるいは思い違いの段、多々あったと思いますが、役目柄ということでお許し下さい。

しかし、これからも建て前よりも本音を大切にしたいと思います。

(4)分区分割は、その緒につきました。今後とも分区分割の実情に応じて、合理化へ進むものと存じます。

(5)地区分割も、その必要性は、殆ど全員の御理解を得たと考えております。しかし、その具体化は極めてむづかしく、人間社会のことは理屈だけのものではないと考え込んでおります。

(6)また、地区の運営については、皆様の御理解と御協力によって、ある程度の前進があったと思います。

一歩ずつ改善の道を、皆様とともに進むことが出来ることは、本当にうれしいことであります。

(7)R.I.本部から、ガバナーには、数多くの航空便が参ります。今、ふりかえってみて、あまり緊急を要することは少く、且つ、資金的な要請に類することが相当あったように感じます。R.I.本部も行革的再検討が必要ではないかと思えます。あまり事情を知らぬ一ガバナーの偏見でしょうか。

刺身の眞^{つま}



パストガバナー
安野 譲次

ハマナスの花が散ってクチナシの蕾がふくらむ頃になると、冬の間は短かった日足が伸びてくる。夏至の頃には7時頃まで黄昏を楽しむことが出来る。

日本のように北緯24度から45度近くまで細長く伸びているような国では、四季の移り変わりがよくわかる。

英国は日本に似て細長い国であるけれども、ロンドンは北緯51度、スコットランドのはしくは約60度であるから、夏と冬との日照時間の差は大きい。したがって夏季時間をとり入れなければ損である、というようなことになるのであるが、日本も終戦当時、ある時期に進駐軍のアドバイスでサマータイムを採用したことがある。しかし、あまり効果があがらず、廃止された歴史がある。英、米のやっていることだからそれに合わせたのか命令されたのか私は知らないけれど、面倒なことの嫌いな私が助かったのは事実である。

さてフランスはどうかといえば、パリが北緯49度ぐらいであるから、皆様ご承知の7月14日のバ里祭（これは日本名であって本当は革命記念日である）、この頃は日が長く、暑気は酷しく、安物のカメラでも午後9時過ぎまでフラッシュを使わなくても写真が立派に撮れるほどである。パリのお金持ち等は皆バカンスを過すために山や海に逃避する。残された下町の住人はウップンやるかたなく、町角でアコーディオンやバンジョーでワルツやパソドブルを演奏する。これはいかにも下町のパリジャン好みのテンポなので、下町のアンチャンやムスメさん等のお気に召す事となる。庶民の間に可憐な恋の花が咲くのも、こんな黄昏である。

北緯58度から70度に及ぶクールウェイには、夏になると白夜の饗宴がある。この大切な時間を、そして陽光を無駄にしないために人々は海岸に集る。太陽の光を、長く暗い冬のために体内に蓄積するのであろう。海岸は裸身の楽園である。しかし、世の中には不屈きな輩がいるもので、沖を通る船のデッキからこの光景を楽し

む者が大勢いるのである。手に手に双眼鏡や望遠鏡を持ってエデンの園の観賞をするのである。世に必要な発明の母とかいうので、そのレンズの精度は向上した。ドイツの有名なレンズ工業はこのために素晴らしい発展をしたのであると、真顔で私に説明をする悪い友人もいた。チョット出来過ぎた話である。

そんな真夏のある日、私は英国の有名な海水浴場ボーマスに泳ぎに行った。海からあがって砂の上に寝ころんでみると、60才ぐらいの品の良い婦人が来て、「あなたは中国人ですか」と尋ねるので、「いいえ、日本人です」と答えつつ私は立ち上がった。そしてその婦人と一緒に歩き出した。しばらく沈黙が続いた。その婦人は突然立ち止まってしげしげと私の顔を見て、「時に日本人と中国人はどう違うのです？」という質問が飛び出した。私にはとっさに返事をする言葉が見つからなかった。やや暫くして私は「丁度イギリスとフランスのように海をへだてて隣りあっているのです。しかし、言葉も習慣も違いますよ」と返事をする、やや納得したような顔をしてまた歩き出した。私は「ではまた」と言って別れた。

その夜、友人とホテルのラウンジで話をしていると一人の立派な紳士が現れて、「貴方がたは日本の方だそうですね。私は第一次世界大戦の時に日本の海軍に助けていただいた事があるのですが」と言って隣の椅子に腰をかけて、色々な話を聞かせてくれた。その人は我々が想像したように、昼間、海岸で会った老婦人のご主人であった。

その夜、私達は亡くなった父や母の時代の人々の善意によって、素晴らしく楽しい時を持つ事が出来た。

広い世間には、どんな糸で結ばれているかわからない人々が、お互いに気づかず、すれちがってゆく事が多いのではないだろうか。

「人類はひとつ」向笠会長のテーマが光ってくるのである。

渋谷栄一先生の 「論語と算盤」と ロータリーの真髄



パストガバナー
 山田市三郎

去る2月27日、国際ロータリー第260地区尾張第二分区 I G F が、瀬戸市において開催され、パストガバナー、職業奉仕のアドバイザーとして招聘されて、渋谷栄一先生とポール・ハリス卿の説かれるところとは、真底全く同意義であると、つくづく感嘆いたしました。世界にもたれる子爵の多数の信者の数は、ロータリアンの数に匹敵すると存じます。

機関誌青淵の今年の1月号に「渋谷栄一のことば」と題して掲載されてありますので、読んでみますと前置きして、多くのロータリアンである聴衆に向かい声高らかに読み上げました。拍手喝采、しばし止まない有様でした。この「渋谷栄一のことば」については、後ほどゆっくり記載いたしますが、翁は早くから経済と道徳との合一論を説かれました。有名な「論語と算盤」という格言です。

ロータリー誕生50周年年度の会長ハーバート・テラーの「四つのテスト」「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」は、よく読めば、渋谷子爵の経済と道徳との合一論であります。又、翁が早くから唱えておられる論語と算盤という格言とは瓜二つであります。

ロータリーの決議23-34の本文の「超我の奉仕」の哲学は、渋谷翁の実践倫理であります。

“Service above Self”

青淵先生訓言集より、「渋谷栄一のことば」を引用します。

● 論語に、「君子ハ義ニ喩リ、小人ハ利ニ喩ル」ということがある。この利と義との差別が、即ち君子と小人との別である。思想高尚にして、小利に汲々とせず、一旦覚悟したことは、必ず之を貫くという堅実なる志操を有するもの、

これ君子である。之に反して唯その一身を本位として、自己の利益にのみ拘泥するもの、これ小人である。

● 商業と道徳とは、油と水の如く相和せぬように思うは誤りである。如何に知識が発達し、富が増進しても、道徳を欠いては、決して世の中に立って大いに力を伸ばすことは出来ない。

● 農作物でも左様である。肥料をやって茎が伸び、大きくなるに従って之に相応して根を固めなければならぬ。然らざれば風が吹けば必ず倒れる。実が熟さぬうちに枯れてしまう。故に商業家も事業を進めるには、之に伴う道徳的精神を以て活動しなければ順序よく進み得るるものでない。

● 商業道徳なるものは、事業を拡張し、富を増進する栄養物である。

丁度今から約50年前のことです。私が東京帝国大学校を卒業して、青淵先生の第一銀行に入行して数年目のことです。明石照男先生のご紹介で、飛鳥山のご本邸をご訪問申し上げたことがございました。数万坪のお屋敷の大邸宅でした。春雨そぼ降る中を玄関へ歩を運びました。待つことしばし、洋式の応接間へ和服白足袋の先生が、にこやかにご入来でありました。福沢諭吉先生と並び称せられた、世界経済の大立者であった渋谷青淵先生が、よくも20歳そこそこの青年に面会をして下さったものであると、今にして思います。私と対座され、ゆっくりと1時間以上にわたり、論語を講ぜられ、経済と道徳との合一論を述べられました。そしてご老体は、20有余歳の若輩を、玄関に立たれて、お見送り下さいました。今年82歳の青年が、これほど感化をうけたことはございません。

米山奨学会特別寄付報告

日付	クラブ名	日付	クラブ名	日付	クラブ名
5/4	岡崎 1名	5/12	岡崎南 4名	5/21	名古屋東
6	岡崎東 303,647円	20	小牧 1名	24	岡崎 1名
12	小牧 3名 90,000円	20	豊橋北 4,000円	24	新城 1名 100,000円

国際奉仕の やり方、考え方



パスト ガバナー
森 泰 樹

一口に言って、ロータリーの四つの部門の中で国際奉仕部門はなかなかやりにくいと言われている。ことに外人と接する機会の少い辺鄙な所のクラブでは、一層そのことが痛感されるという。

ところがそうではない一つの証左がある。奥三河といえば豊橋から車でゆうに1時間半もかかる山間の町で、岐阜県境に接する所で、いうなれば愛知県の北海道といわれる所である。このクラブがここ数年来、英国の学生、しかもオックスフォードとかケンブリッジ、ロンドン等の英国一流の大学の学生が名古屋の南山大学に留学してくるのを誘って、夏期のある期間、涼しい山間いの自分達の家々にホームステイをさせて、味噌汁を食べさせながら、地域の人々との交流をさせて国際理解に大いに寄与している。このことで今年はガバナーの推薦でR.I.本部から「意義ある業績賞」を戴く栄誉を担った訳であるが、私も国際奉仕はやりにくいかも知れないが、その気さえあればどこのクラブでも実行出来るという生きた証拠として、機会ある毎に地区内クラブに吹聴している。

国際奉仕のやり方はロータリーの善意をどんな方法でもいいから全世界の人々に知り渡らせ、顔の色、言語、風俗習慣の違った人々の間に生じやすい偏見と誤解とを取り除くことにあることは周知のことである。

まず個人レベルで言えば、あらゆる機会を捉えて外国の人に接する、接したならば仕事の運びは万事ロータリー精神で行う他、仕事以外のことでお互いの国を理解させるようにあらゆる努力を惜しまないことである。クラブレベルでは組合せ地区を含む全世界各都市のクラブと姉妹提携しているクラブが地区内で34クラブに及んでいる。殊にグアムとの学生交流基金を設定している軽井沢R.C.、サンリアンドロR.C.と毎年濃厚な交流を続けている一色R.C.、又、豪州カウラR.C.と提携し、彼の地に日本庭園を建設

し、そのアフターケアを怠らない稲沢R.C.等、目覚ましい活動をやっているクラブも地区内には沢山ある。

地区レベルでいえば、青少年交換には若い男女の学生を毎年、米国、豪州に派遣、又は受入れをして大変な効果を挙げている。学生の選考、成田への送迎等、この方面を担当して頂いている加藤一三委員長の努力には頭の下る思いである。

WCSというのは、R.I.が全世界から集めたプロジェクトの幾つかに地区で献金する仕事であるが、一昨年フィリピンの火山の爆発には臨時に基金の送金もして、彼の地で大変感謝された。

国際ロータリーの毎年の会長の出すターゲットがこのところ殆ど国際奉仕関係に傾くような傾向にあるのも、ロータリーの生い立ちからして国際奉仕がロータリーの目玉であることから当然のことと思われるのである。

今年春に行われた日韓親善会議には向笠会長が大変力を入れられ、誠に心温まる雰囲気であったが、日韓の古い忌まわしい歴史をロータリーの温かい手で少しづつでも改善して行って、宗教、文化の流れを一つにする両国民の心の触れ合いに浸み通るように寄与してゆくことを、私は心から祈念している。

我が260地区内7つの分区に今年中にそれぞれ国際奉仕委員長会議が発足して、お互いの問題点を探り合い、且つ討論して大変な成果を挙げている。来年度はこの線を益々進めて、出来得れば地区レベルの会合にまでもっていきたいと思っている。

国際関係の峻しいこの世の中にロータリーの国際奉仕のやる力は螻蛄の斧であるかも知れない。しかし、我々は何かをせねばならない。我々全世界90万人の善意がやがて岩をも砕くエネルギーの基とならないと誰がいえるであろうか。今日も昨日も国際奉仕に力を注いでゆきたいと思うのである。

財団委員会報告

地区財団委員長
バスターガバナー

鮎谷賢太郎

1983年度は向笠会長の年でもあり、近年、財団寄付率低下から奨学生の割当数も著しく減少している折柄、財団委員長として改善の責任を痛感いたしました。この点については、大隈ガバナーから、奨学生の数にはこだわらないで奨学生制度そのものの中味を良くするようご希望がありました。又、本部からの要請もありましたので、77名（うちG.S.E.15名）にのぼる同窓生の近況を調査し、充実、団結を目的とする同窓会創立に千村学友会委員長のご尽力で3月に260地区に学友同窓会が組織出来たことは、これから学友間の親睦とロータリーの橋げたとなって国際奉仕の推進に役立つことと確信しております。

今年の新奨学生選考については、小山奨学金委員長と選考委員10名のご協力により、40名近い申請者から5名の最も優秀な適格者を厳選いたしました。その結果、長野県から3名、愛知県から2名（男子4名、女子1名）を欧州へ3名、米国へ2名、来年7月に派遣する予定になっております。選考委員の数が例年より減りましたので委員諸兄の任務が重くなりましてご苦勞をおかけしました。それにつけても健康上、私が出来なかった細部にわたる諸般の準備を代ってして頂きました小山委員長に、ここに心から感謝申し上げます。

受入れ留学大学生については、今年は米国から3名、英国から1名（うち2名は女子）の今までにない多数で、入学、入国には委員長として交信、交渉手続き、ホストクラブカウンセラーの選定などかなりの時間と労力を要しました。まだ到着していない者もいますが、下に学生についての概略を記載いたします故、彼等の滞在中、地区内各クラブ国際委員長のご配慮で例会や家族会等にゲストスピーカーとしてお招き頂き歓迎して下さいようお願い申し上げます。

Miss Dana Osherman ホストC. 名古屋西 豊立芸大
(Philadelphia, Penn. U.S.A.) 現住所: 愛知県長久手町岩作字東島83 加藤方

Miss Winifield K. Woodard 松本 松本才能教育研究会
(Edwardsville, Ill. U.S.A.) ウェイオリン科
松本市里山辺北小松3886 山田方

Douglas L. Edwards 名古屋南 南山大学
(Providence, I.I. U.S.A.) 日本語文化研究科
9月来日予定

Michael Jenkins 名古屋和合 同上
(Durham, England) 7月来日予定

さて、今年の260地区としてのロータリー財団への寄付状況は4月30日までの統計では総額\$149,350で、会員一名当り平均\$26.30であります。現時点で寄付額平均\$50を越えているクラブ12、逆に\$1も寄付していないクラブが9クラブありまして、殆どが長野地区のクラブでございます。今年、奨学生が選出された長野東R.C.の寄付はゼロです。昨年7月に財団委員長として各クラブの財団及び国際奉仕委員長宛お手紙をお願いいたしました如く、7名の奨学生を出すためには、会員一名当り\$70の寄付が必要であります。ガバナーからご指摘のありましたように、奨学生の数にこだわる訳ではありませんが、全国一の会員数を擁する260地区としては、せめて5名の奨学生を確保したいと思いますので、6月末までに、一名当り平均\$50の線まで達したいと念願しております。

留学中の今年度の奨学生の動勢については、常に手紙、又は情報を送り、連絡を保ち激励しております。例年の如く学位をとるため留学期間の延長を数名から希望してきておりますが、財団委員会としては建て前として出発の際、幾度も注意した如く、留学は学位をとるためではなく、親善使節として1年の約束で、その期間が終了すれば一応帰国して地区大会に出席してスポンサークラブで在学中に習得した体験、親善使節として行った活動についての報告、同窓生との交友を義務づけるよう説得しております。

奨学生制度は財団の最も意義ある活動でありまして、“金の玉子”とも言うべき前途有望な青年の将来のために勉学の機会を与えることであると私は信じております。そのためにこそ会員皆様の寄付が貴重な投資であり、今我が国が最も必要としている国際人の造成に寄与する活動であります。

1980年以来3ヶ年にわたり財団委員長として地区役員の末席を汚して参りましたが、昨秋以来、高血圧から脱し得ず、この度、奥沢次期ガバナーにお願いしまして、委員長の重責から下ろして頂きました。任期中、酒井長野県担当副委員長、浅野愛知県担当副委員長始め他の小委員会委員長諸兄より寄せられました、公私にわたるご協力に対し、本紙面を通じて深い感謝の意を表します。

昭和58年5月度

分區別会員数及び出席率

昭和58年5月31日現在

分 区	クラブ名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半 田	65	95.32	3	65	0
	半 田 南	43	99.41	4	43	0
	東 知 多	46	95.55	4	46	0
	名 古 屋	211	96.29	4	213	- 2
	名 古 屋 東	93	99.31	5	92	+ 1
	名 古 屋 北	97	100.00	4	98	- 1
	名 古 屋 北	51	100.00	4	51	0
	名 古 屋 名 東	54	100.00	4	54	0
	名 古 屋 南	116	99.50	4	116	0
	名 古 屋 港	104	100.00	4	103	+ 1
	名 古 屋 瑞 穂	60	99.40	3	60	0
	名 古 屋 守 山	79	99.34	4	79	0
	名 古 屋 中	94	99.32	5	94	0
	名 古 屋 西	135	97.92	3	136	- 1
	名 古 屋 東 南	82	100.00	3	82	0
	名 古 屋 和 合	77	100.00	4	75	+ 2
	東 海	50	98.48	4	49	+ 1
	常 滑	57	99.55	4	58	- 1
	名 古 屋 千 種	47	99.47	4	47	0
	19C	1,561			1,561	0
尾 張 第 二 分 区	あ ま	72	98.89	5	72	0
	尾 西	53	98.80	5	55	- 2
	一 宮	82	99.05	4	83	- 1
	一 宮 北	77	99.66	4	76	+ 1
	稲 沢	52	98.08	4	52	0
	犬 山	75	100.00	4	75	0
	岩 倉	30	98.33	4	30	0
	春 日 井	82	100.00	4	82	0
	小 牧	65	100.00	4	64	+ 1
	江 南	65	100.00	3	64	+ 1
	名 古 屋 空 港	67	99.37	5	67	0
	西 春 日 井	70	99.63	4	69	+ 1
	尾 張 旭	48	98.96	4	47	+ 1
	瀬 戸	76	98.36	4	76	0
	瀬 戸 北	50	95.68	4	52	- 2
	津 島	72	100.00	4	71	+ 1
	16C	1,036			1,035	+ 1
三 河 第 一 分 区	渥 美	57	100.00	3	57	0
	蒲 郡	72	93.46	4	72	0
	奥 三 河	52	93.80	4	52	0
	新 城	47	97.34	4	47	0
	田 原	64	97.34	4	66	- 2
	豊 橋	112	98.70	3	112	0
	豊 橋 北	101	98.34	4	100	+ 1
	豊 橋 南	68	99.67	5	67	+ 1
	豊 川	79	97.30	4	79	0
	9C	652			652	0

分 区	クラブ名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 数	増 減
三 河 第 二 分 区	安 城	72	99.65	4	72	0
	碧 南	70	99.24	4	70	0
	一 色	54	95.42	3	54	0
	刈 谷	85	98.33	5	85	0
	西 尾	75	98.58	4	75	0
	岡 崎	88	99.04	4	88	0
	岡 崎 東 南	60	96.42	3	60	0
	岡 崎 南 浜	78	100.00	4	79	- 1
	高 田	44	98.22	4	41	+ 3
	豊 田	88	100.00	3	88	0
東 北 信 分 区	豊 田 東	55	99.55	4	55	0
	豊 田 西	73	99.43	5	73	0
	12C	842			840	+ 2
	軽 井 沢	41	100.00	5	41	0
	小 諸	55	70.42	4	55	0
	丸 子	39	89.73	3	39	0
	南 佐 久	27	91.66	4	27	0
	長 野 野	94	93.90	4	94	0
	長 野 東 南	72	95.14	4	72	0
	長 野 南 野	33	96.30	5	33	0
南 信 第 一 分 区	中 野 久 坂	46	87.73	3	47	- 1
	佐 久 坂	37	90.00	4	37	0
	須 上 山 田	42	95.00	4	42	0
	戸 倉 上 田	38	100.00	4	38	0
	上 田 東	60	93.06	5	60	0
	上 田 東	50	97.95	4	50	0
	13C	634			635	- 1
	茅 野	26	93.07	5	26	0
	富 士 見	33	93.18	4	32	+ 1
	白 馬	41	94.37	4	41	0
南 信 第 二 分 区	木 曾	48	91.72	4	48	0
	松 本	75	100.00	3	75	0
	松 本 南	78	100.00	5	79	- 1
	松 本 西	47	99.47	4	46	+ 1
	岡 谷	61	96.72	4	62	- 1
	大 町	59	93.42	4	59	0
	塩 尻	40	98.75	4	40	0
	諏 訪	61	92.92	4	61	0
	11C	569			569	0
	飯 田	82	99.62	4	82	0
南 信 第 二 分 区	飯 田 南	74	99.62	4	75	- 1
	飯 田 島	35	100.00	4	35	0
	飯 田 那	82	98.12	3	82	0
	伊 根	61	100.00	5	61	0
	駒 ヶ 根	51	95.91	3	51	0
	松 川	32	95.32	4	32	0
	箕 輪	49	100.00	4	49	0
	辰 野	49	100.00	4	49	0
	8C	466			467	- 1
	計 88 クラブ	5,760			5,759	+ 1

地区ニュース

★西尾R.C.より

5月7日(土)に創立25周年記念式典が西尾文化会館に於て行われた。

●記念事業

- ①奨学金制度の拡充
- ②市立図書館へ青少年向き新図書寄贈
- ③西尾警察署へロータリー車一台を寄贈等

★第260地区分区分代理会議

日時 昭和58年5月11日(水) 18時～19時

場所 名古屋観光ホテル 1階

- 議題
1. IGFを顧みて
 2. 地区協に関して
 3. その他

1982～83年度 第260地区 世界社会奉仕実績リスト

●クラブベース実績

実施 クラブ	プロ ジェ クト No	内 容	対象国	対象R.C.	金 額	実施期
名古屋 中RC	1217	青小年奨学資金	KENYA	MOMBASSA	\$ 314	Apr.'83
名古屋 中RC	1213	仁荷大学に對する 日本書籍寄贈	KOREA	INCHEON	¥255,000	May'83

●地区ベース実績

プロジェクト	内 容	対象国	対象R.C.	金 額	実施日
R I 要請	エクアドル 沿岸地域洪水	エクアドル	440地区	\$1,000	Apr.'83
R I 要請	ペルー 北部洪水と土砂崩れ	ペルー	446地区	\$1,000	Apr.'83
R I 要請	コロンビア ツコマ島津波	コロンビア	429地区	\$1,000	Apr.'83
R I 要請	フィジー島 台風	フィジー	992地区	\$1,000	Apr.'83
R I 要請	ボリビア 中部地区 干魃と東北部洪水	ボリビア	469地区	\$1,000	Apr.'83
R I 要請	インド アッサム州動乱	インド	329地区	\$1,000	May'83
R I 要請	コロンビア カウカ地方地震	コロンビア	429地区	\$1,000	May'83

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 5月14日 宮川 勝 弥君(岡崎南)
5月14日 野々垣季登己君(尾 西)
6月8日 鈴木 豊 七君(木 曽)

分 区 ニ ュ ー ス

☆尾張第一分区分国際奉仕委員長会議

と き 昭和58年5月12日(木) 13:40

ところ 名鉄グランドホテル 12階

ホスト 名古屋東南ロータリークラブ

出席者氏名

地区関係

ロータリー財団委員長

パストガバナー 鮎谷賢太郎(名古屋)

国際奉仕副委員長 下郷弥太郎(名古屋東南)

世界社会奉仕委員長 日比野 安(名古屋)

19C.委員長

ホストクラブ会長 斎藤 晶(名古屋東南)

次回開催日時(ホスト 名古屋中R.C.)

昭和58年7月予定

おめでとう

ポールハリス・フェロー

- 4月28日 篠崎 哲郎君(松本 西南)
4月28日 大竹 一三君(岡崎 東)
4月28日 横井 弘美君(瀬戸 北)
4月30日 二村 忠男君(名古屋 西)
5月9日 各務 芳樹君(名古屋東南)
5月19日 加藤 知成君(東 知多)
5月23日 川西十三雄君(豊橋 北)
5月31日 平林 堅君(白馬)
5月31日 鈴木 博也君(豊川)

橋シリーズ⑬ (ターゲットに因んで橋の写真を連載します。)



和合 めがね橋

ゴルフファンおなじみの名古屋和合コース17番の名物橋。

(名古屋和合R.C. 提供)